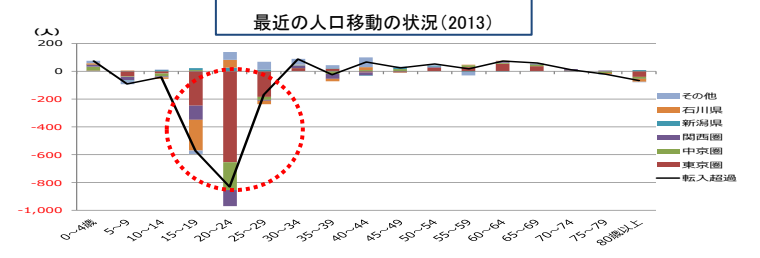
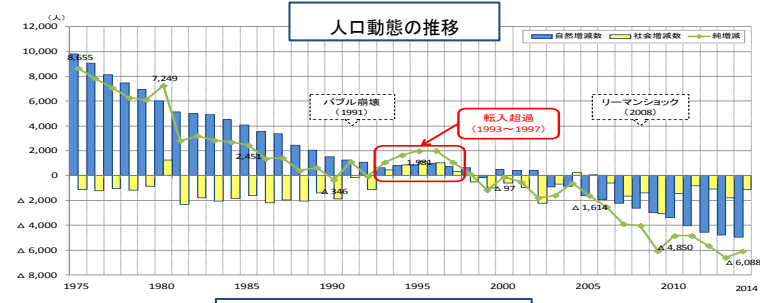
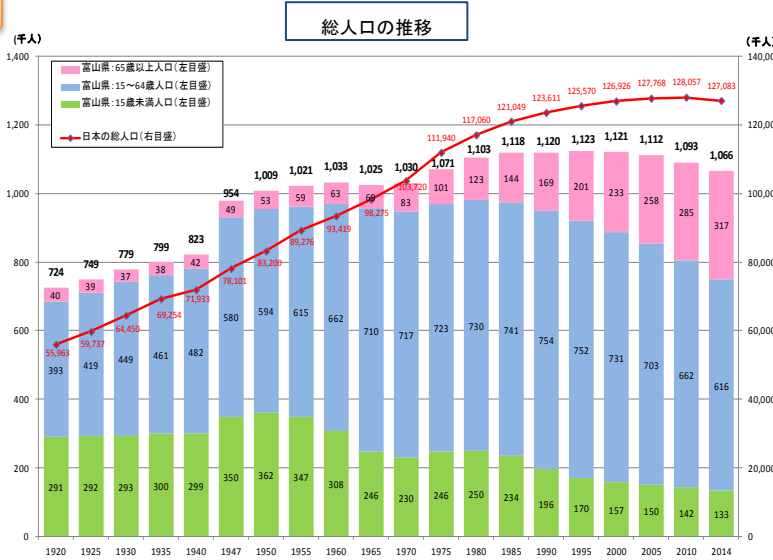


富山県の人口の現状

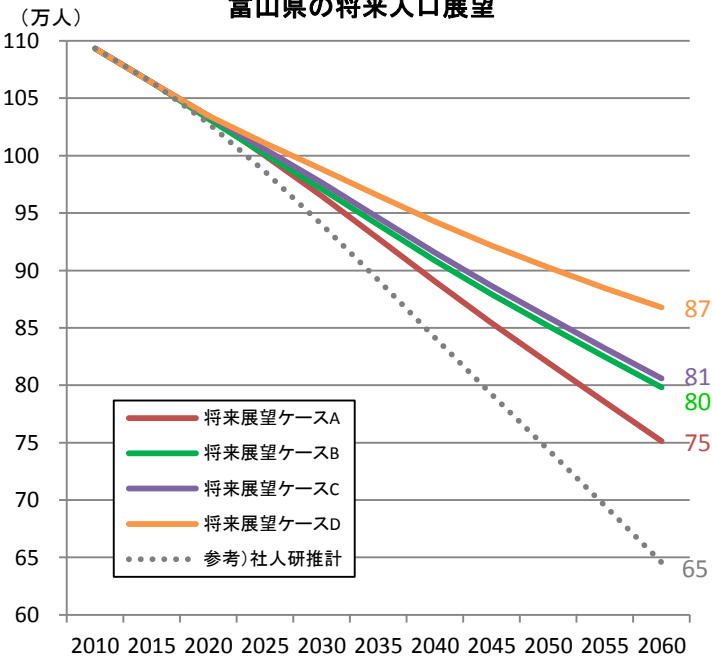
- 1993年(H5)に65歳以上人口が15歳未満人口を上回り、以降その差は拡大
- 富山県の人口は、1998年(H10)の1,126千人をピークに減少
- 社会増減(転入-転出)は1998年からマイナス傾向が続き、自然増減(出生-死亡)は2003年から連続してマイナスが拡大
- 最近の人口移動の状況を見ると、15-29歳の若者世代の東京圏への転出超過が目立つ



富山県の将来人口の展望

出生率の上昇と社会移動の改善

富山県の将来人口展望



推計条件	富山県の将来人口展望				国の将来人口推計	
	ケースA	ケースB	ケースC	ケースD	—	
区分	転出率半減	若者層の大都市圏との転出入改善			—	
自然増減 (合計特殊出生率)		●2015年 : 1.45(2014年実績値) ●2030年 : 希望出生率1.9を達成 ●2040年 : 人口置換水準2.07を達成 ●2040年~ : 人口置換水準2.07を維持			●2030年 : 1.8を達成 ●2040年 : 2.07を達成 ●2040年~ : 2.07を維持	
社会増減 (人口移動)	●~2020年: 転出超過の世代の転出率が段階的に改善し半減 ●2020年~ : 半減のまま継続	※特に若者世代の社会増を重点的に取組み ●~2025年: 若者世代の転出超過が段階的に改善し移動均衡 ●2025年~ : 若者世代の移動均衡が継続			●~2020年: 東京圏⇄地方の移動均衡 ・地方→東京圏 転入6万人減 ・東京圏→地方 転出4万人増	
将来人口	2010年	約109.3万人				約1億3千万人
	2020年	約103.4万人	約103.2万人	約103.5万人	約103.5万人	—
	2040年	約89.0万人 (▲19%)	約90.9万人 (▲17%)	約91.5万人 (▲16%)	約94.2万人 (▲14%)	約1億1千万人 (▲15%)
	2060年	約75.1万人 (▲31%)	約79.8万人 (▲27%)	約80.6万人 (▲26%)	約86.8万人 (▲21%)	約1億人 (▲23%)